

# 土木學會

## 關西支部長

工學博士 眞田秀吉氏

○

眞田秀吉氏は明治三十一年に東大土木科を出で直に内務省の大阪土木出張所に入り、其の直轄工事たる淀川改修工事に従事された。

明治四十四年に東京土木出張所に轉勤となり、利根川第三期改修工事に當り、之が主任技師として精勵の聞があつた。

○

大正三年に歐米各國へ出張を命ぜられ河川工事其他に關して視察研究する處あり、歸朝後大正九年に兼て

土砂を運搬するに就て當時使用中の機械の各能力を理論及び實用上から研究したる論文に依り工學博士の學位を得た大正十三年高等官二等に叙せられ勅任技師として再び大阪土木出張所に轉じ、其の所長として今日に至つてをる。

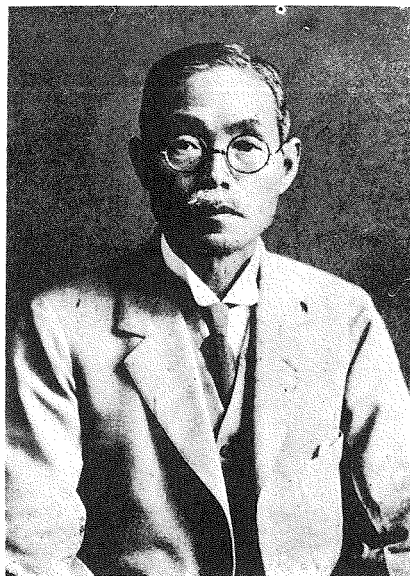
○

大阪に在る内務省土木出張所は餘り世間に知られて居ないが、治水工事に關しては其所管する處は中々廣いものがある。

淀川の増補工事を初め、吉野川、岡山縣の高梁川、鳥取縣の千代川、鳥根縣の斐伊川其他は境港も大阪土木出張所の仕事である。

○

大阪市には大土木事業が澤山にある、今後府市の種々な交通、運輸、治水、其他の都市計劃に關して研究調査せらるべき問題が、土木學會關西支部の衆知に依り適當に解決を與



Dr. H. Sanada.  
Managing director of Kwansai District  
of The Japanese Society of Civil Engineers.

へ、又は一應の研究を與へらるゝ事は勿論と思はれる、眞田博士が支部長として、支部幹事諸氏の熱心なる盡力は、日本の土木學會の分權ではなくして、首手足俱に肥ゆるものとして好感に満ちてをる。

○

土木の關する處は現代の社會生活に於て最も廣汎なるものがある、従つて土木工事の統一ある進歩改善は其國運に及ぼす影響も甚大である。

技術家が從來の弊害たる主我一點の殻を出でて、廣く衆知を會して社會の實生活に觸れる事は何よりの貢獻である。一意關西支部の發展を祈るものである。